

# 小学2年 生活科「わたしの町はっけん」

柏市立旭小学校 甲野藤 みちる

## 1. 単元目標

- 自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていること、そのことを伝え合うことのよさや楽しさに気付くことができる。(知識及び技能)
- ◎地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考え、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んで表現することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 地域の場所や人々への親しみ・愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 情報活用能力育成をめざす単元づくり(全22時間扱い)

### (1) 単元について

本単元は、生活科の「はっけん」単元のメインの一つであり、大きく分けて3つの小単元で構成されている。町を探検して、地域の場所・施設やそこで働いている人々に気付き、もっと知りたいという思いを高める。次に、気になる点を調べたり尋ねたりして情報を収集する。そして、得た情報を整理し、表現して発信する。最終的には、自分の考えを伝え合うよさや楽しさに気付けるようにし、自分たちと様々な人や場所のかかわりを理解して地域への愛着を深めていきたい。

### (2) 学習計画

	時	学習内容	留意点
1 課題の設定	1 ～ 6	○1回目の探検をして、様々な町のよさを発見する。	・情報交換は、タブレット端末を使い、Jamboardで発見を共有し、もっと調べたいという思いを高めるようにする。
2 情報の収集	7 ～ 10	○興味をもった場所をどのように調べるか計画を立てる。質問したいことを考え、インタビューした内容を聞き取る。	・タブレット端末で、教師が代わりに行った質問内容や写真を共有することで、できるだけ様子が伝わるようにする。
3 整理・分析	11 ～ 16	○探検で調べたことをどのように発表するか考え、まとめる。	・調べたことをまとめる観点をいくつか提示し、児童が内容や方法を工夫できるようにする。
4 まとめ・表現	本時		<本時展開参照>
	17 ～ 20	○相手に伝わるように、調べたことを発表する。	・スライドを使って聞き手に分かりやすく発表できるようにする。 ・聞き手は、分かりやすい発表になっているか、ワークシートを用いて確認する。



5 振り返り・改善	21 ～ 22	○調べたことをもっと町の人に広げる方法を考える。	・保護者に向けて、学習の成果を発表し、自分たちの住む地域への愛着を深められるようにする。
-----------	---------------	--------------------------	--

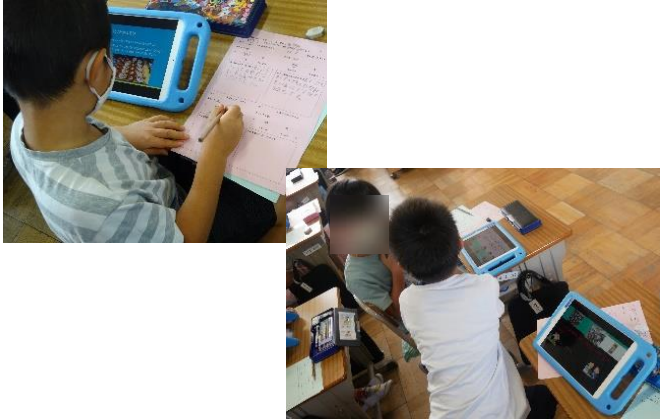
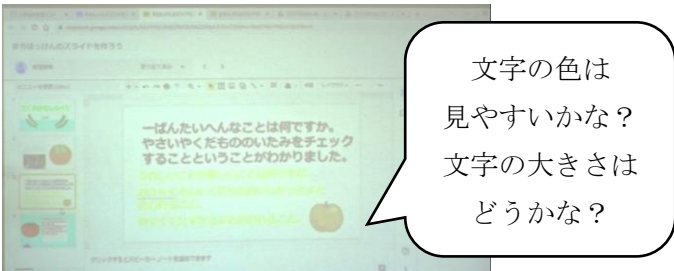

### 3. 本時について（本時 1 2 / 2 2 時間）

#### （1）本時の目標

○地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について、相手に分かりやすく、自分の伝えたいことを表現することができる。（思考力・判断力・表現力等）

#### （2）本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 3分	<p>1. 【全体の学び】 前時までの学習を想起し、学習課題をつかむ。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>スライドのないよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうし(だい名、名前)</li> <li>・えらんだ理ゆう</li> <li>・しつもん、答え(クイズ)</li> <li>・思ったこと、かんじたこと</li> </ul> </div>	<p>●そのお店について知らない友達が見て、分かりやすくまとめるという視点を全体で確認する。</p>
展開 ① 5分	<p>2. 【①個の学び】 前時までに作成したスライドに追加のページを作成する。</p> 	<p>●【タブレット端末】事前に行ったプリントの内容をもとに、本人にとって分かりやすいスライドになるよう助言する。</p> <p>●スライドの使い方などの質問がある児童を中心に机間指導をする。</p>
② 20分	<p>3. 【②協働の学び】 同じ店舗を選んだ友達同士で、お互いのスライドを見せ合う。また、分かりやすかったところとあと少しのところをプリントに記入する。</p> <p>&lt;分かりやすかった&gt;                      &lt;あと少し&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #f0e6ff; padding: 5px; border: 1px solid black; width: 45%;"> <p>わたしの町はっけん 2年( )くみ 名前( ) ◎( )さんのスライドの <u>分かりやすかった</u>プリント</p> <p>①( )まい目のスライド      ②( )ま</p> <p>見たしてん👁️                      見たしてん👁️</p> <p>( 文字 ・ 色 ・ ( 文字</p> <p>しゃしん ・ そのほか )                      しゃしん</p> <p>どんな風によかったかな？                      どんな風によかったか</p> </div> <div style="background-color: #e6f0ff; padding: 5px; border: 1px solid black; width: 45%;"> <p>わたしの町はっけん 2年( )くみ 名前( ) ◎( )さんのスライドの <u>あと少し</u>プリント</p> <p>①( )まい目のスライド      ②( )</p> <p>見たしてん👁️                      見たしてん👁️</p> <p>( 文字 ・ 色 ・ ( 文</p> <p>しゃしん ・ そのほか )                      しゃ</p> <p>どんな風にするともっとよくなりそうかな？                      どんな風にな？</p> </div> </div>	<p>●【タブレット端末】「▶(プレゼンテーションを開始)」のところから、スライドを開くように指導する。</p> <p>●そのお店について知らない友達が見て、分かりやすいスライドになっているかという点に着目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさ</li> <li>・色の見やすさ</li> <li>・内容に合った写真</li> <li>・その他 (見出しがあるなど)</li> </ul>

		<p>●お互いのスライドを見せ合う時にペアトークの時間を設けて、文字・色・写真がどうなっていると分かりやすいと思うのか実感できるようにする。</p>
<p>③ 12分</p>	<p>4. 【③発表や話し合い】 クラス全体で学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすいところ</li> <li>・あと少しだったところ</li> </ul>	<p>●黒板にスライドを投影して見比べることにより、分かりやすいスライドとはどういうものか全体で共有できるようにする。</p> <p>●スライドをより分かりやすくするためにはどうすればよいか考えさせ、次時に臨めるようにする。</p>
<p>終末 5分</p>	 <p>5. 【個の学び】 友達からのアドバイスや学習のまとめを参考にし、自分のスライドを見直す。</p> 	<p>●【タブレット端末】スライドを見直す視点をしっかり持たせる。</p>

### (3) 情報活用能力のプロセスと育成を図るポイント

課題の設定	情報の収集	整理・分析	○	まとめ表現	◎	振り返り改善
-------	-------	-------	---	-------	---	--------

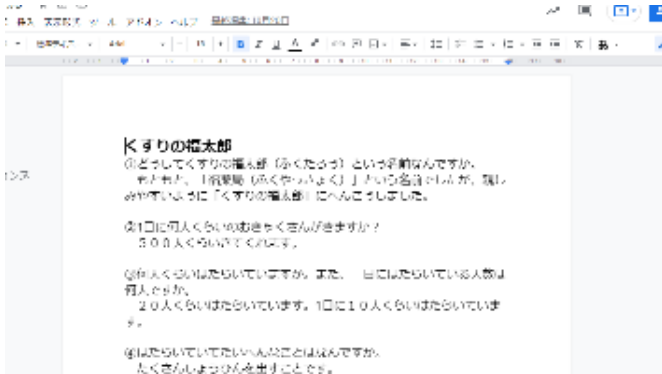
#### ○整理・分析のポイント

本来であれば、直接店舗に行って町探検を行う予定だったが、コロナ禍の影響で教師が代わりにインタビューすることになった。そのため、Google ドライブにある情報や画像の中から、自分がどんなことを伝えたいかという視点を大切に情報整理し、自分の考えが構築できるようにする。

#### ○まとめ、表現のポイント

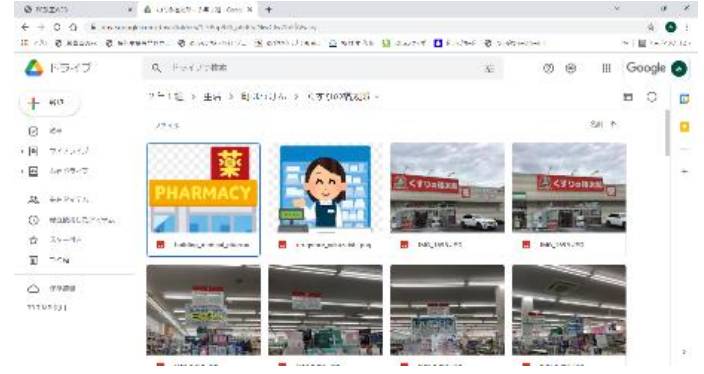
調べたことをスライドにまとめる時に、相手に分かりやすく表現する視点を持って作成していく。児童はスライドにまとめていく作業は初めてになるので、文章や画像、既存のテーマ等を活用して、どのようにまとめると分かりやすいのかを一緒に考えていきたい。また、友達からスライドのよい点と改善点を聞いたり、全体で学習のまとめをしたりすることによって、より分かりやすいスライドとはどんなものかを考えさせたい。

<お屋さんへの質問（児童には紙で配布）>



<見やすい文字の大きさ>

<お店の写真（児童はドライブから閲覧・保存）>



<見やすい色>

<質問に合う写真>

**思ったこと**  
 質問が、分かって良かったです。  
 一日に500人ぐらい来店するんだと、びっくりしました。



**選んだ理由**

選んだ理由一つ目は、選んでいる人が、2は目に、少なかったからです。選んだ理由、二つ目は、選んだ理由の一つ目のほうがいよにやる人が決まってる二人だからやりやすかったからです。



**答え**

ミニオン又食パンで



**実践を終えて**

本実践を行うにあたって、2年生という発達段階でどのくらいタブレット端末を活用できるかが不安であった。そのため、本単元の整理・分析の学習に入る際に、スライドの使い方を一つ一つ確認する時間を設け、スライドを作成する学習の始めに使い方を繰り返し確認するようにした。その結果、徐々に端末を用いた学習に自信を持って取り組む姿が見られ始めた。また、スライドの使い方を自分で覚えたり、分からない時には児童同士で聞き合ったりすることができた。スライドは文字を書き換えたり、写真を変更したりするのも簡単にできるため、見直しの時間も含めて4時間程度で完成させることができるので適していると感じた。そして、本単元の振り返りとして、授業参観の代わりにそれぞれの家庭で保護者に向けて発表を行った。スライドやタブレットの活用状況を見ていただくとても良い機会となった。

課題としては、「分かりやすいスライド」の定義の難しさである。今回は、①文字の大きさ②色の見やすさ③内容に合った写真④見出しなどをポイントに、「分かりやすいスライド」として指導を行った。しかし、どれがよいのか児童自身で判断することが難しく、全体でスライドを見合いながら、児童が自分なりに理解を深めていくのが良いのではないかと考える。

これまで、模造紙やリーフレット、新聞などにまとめることが多かったが、本実践を通してスライドを使ってまとめるという新しい選択肢が増えた。その後の生活でも、児童同士でクラスレクのルールをスライドにまとめて、説明するようになった。調べたことや自分の考えを伝える手段の一つとして、タブレット端末を活用しようとする気持ちが高まっているので、引き続き取り組んでいきたい。